

(別紙3)  
文起第1177号-1  
令和5年10月26日

(施設名) 米子市公会堂  
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団  
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆司 ㊟

### 令和4年度「米子市公会堂」指定管理者業務評価書

施設名	米子市公会堂
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人 米子市文化財団
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日(2年目)

#### 【モニタリング終了後の総評】

##### 【施設所管課】

新型コロナウイルスの影響がある期間中も、感染防止対策を講じた上で市民が文化芸術に触れる機会を提供したことは評価できる。貸館事業も件数、利用者ともに回復傾向にある。市民との連携事業も多数開催され好評である。

また、花壇の手入れや玄関前の植栽、ボランティアで歩道を毎日清掃するなど適切に管理し美観を保つとともに、小規模な修繕は職員が自前で行うなど経費の節減にも努めている点も評価できる。

##### 【第三者評価】

###### ① 施設について

- ホワイエや前庭を利用した事業も多く行われていて、特色を生かされている。
- 立ち入り調査やデータに基づいた検証が適切に実施されている。
- 全体的にきれい、植栽も手入れが行き届いている。
- Wi-Fiの環境を整えてほしい。これからの時代は必須だと思います。
- コロナ拡大対策として空気清浄機の設置・利用者の利便性に富んでいる。
- 市民が利用しやすい施設のあり方を常に模索している姿勢がうかがえる。

###### ② 管理について

- 施設内だけでなく、前庭や施設周辺の清掃なども努力されている。
- 立ち入り調査やデータに基づいた検証が適切に実施されている。
- 設備点検などは十分に資料からわかりますが、その他の書類の管理などはどうでしょうか。
- 部分的な建物部分や備品など経年変化は付きものであるが、事業報告書によると、今年度(令和4年度)も細やかに対処・改善をすすめていることがうかがえた。館内壁の補修や展示飯の修繕など職員作業によるコスト削減にも努力が伺われるが、それに加え花壇の手入れや除草作業、そして前庭の芝のサッチングや肥料散布など、環境美化にも努力が感じられた。また利用者サービスについても、PR活動として大ホールのみならず、前庭・ホワイエ・集会室の利用等も積極的に行われるよう努力を続けている姿勢

が感じられた。

○大ホール・会議室のみならず、前庭などの手入れも充分に行われている。窓を開けての換気も行われている。

○管理・手入れが行き届いていてよい。

○改修後も丁寧に管理されている様子が伝わってくる。

### ③ 事業について

○虹のひろばなど定期的に気軽に参加できる事業があり、市民への周知が広がり利用が増えることが期待できる。

○立ち入り調査やデータに基づいた検証が適切に実施されている。

○コロナ期間でのイベントが難しい中、できる範囲でしていただいたと感じます。

○今年度もコロナ禍のために多くの事業の実施が検討され、関係者は大変なことであったと思う。しかしそうした中でも、今年度は多くの事業が実施されたことは喜ばしいことであった。特に、鑑賞事業として行われた6年ぶりの「モンゴル国立馬頭琴交響楽団」、そして1,100名もの参加者が集った「岡本誠司&反田恭平デュオコンサート」などは、豊かな文化の享受と地域の活性化に大きく貢献できたように思う。他にも年々継続的に実施されている「虹の広場」なども大切な事業継続となっていると感じている。今後も継続事業をベースとしながら、新たな自主事業の取り組みに期待したい。

○ホワイエ・前庭等を使っの催物もいろいろ行われている。

○岡本誠司&反田恭平コンサートを筆頭に客数が増えてきているのは喜ばしい。このレベルの会場が満席になるようなコンサートが年1回以上あることを望みます。

○ホワイエ、集会室など多様な使い方で事業に取り組んでいて工夫が伝わってくる。

## 【今後の業務改善方策等の特記事項】

### 【施設所管課】

良好な施設管理、PR活動等を継続するとともに、大規模な文化芸術公演の開催が可能であるという施設の特性を活かして催しの誘致活動を行い、多くの市民が良質な文化芸術に触れる環境を整えてほしい。

### 【第三者評価】

○今後はコロナ禍前のように、大規模な事業が多く開催されることを期待する。

○公会堂側の音響設備やパソコンへの接続ケーブル等の設備を更新してください。デジタル化社会に向けての取り組みがかなり遅いと思います。安価で使いやすい施設だと思いますので、そこを改善できれば利用者も増えると思います。周辺企業ともしっかりコラボするべきかと。立地に恵まれている施設ですので、施設利用後の特典があると地域活性につながると思います。

○コロナ禍も第5類に認証されて以来、全国的には落ち着きつつあるという雰囲気ではあるが、未だ感染状況は広がりをみせている。こうした情勢下の中ではあるが、無理のないところで今後も細やかな施設管理に努めていただきたい。

○駐車場が少ないのが、なんといっても難点。「やよい」撤去跡の「ひまわり」駐車場などが、「ビッグシップ」や「文化ホール」などのように、カード式無料化(!)が進めば利用者としては大変ありがたいのであるが…。

○予約システムについて、ホームページに予約可能日が事前にわかるカレンダーができたのはよいこと。どのタイミングで載せられているのかわかりませんが、自主事業を含め、予約できないことが分かった時点ですぐ載せていただければと思います。

## 令和4年度下期「米子市公会堂」モニタリング評価表〔令和5年8月〕

施設名	米子市公会堂	
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	(一財)米子市文化財団
	所在地	米子市角盤町2丁目6番地
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	市政30周年記念事業として昭和33年に建設された米子市公会堂は、芸術文化の振興及び市民福祉の増進を図ることを目的としている。	
主な実施事業	鑑賞事業(優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供) 年間3回程度 参加型事業(多数の市民が参加できる芸術文化の発表の機会提供) 年間3回程度 教育普及事業(芸術文化に関する普及活動、情報提供) 年間3回程度	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
<b>I 履行の確認(60点)</b>			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	現地確認 人員配置は計画通りであり、災害マニュアル等を作成している。
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認 適宜研修が実施されている。
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料確認 ポスター、チラシの配布、報道機関への情報提供、テレビ、ラジオを使った広報の他、近隣駐車場と提携し1時間無料サービスを開始する等、利用促進を図っている。
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	A	資料確認 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、防止対策に努め、施設利用者に安心・安全な状態の貸館を提供し、自主事業を行った。
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 自主事業についてはアンケート用紙が配布され、要望等の実現策を検討していた。
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている。
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている。

(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている。
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	資料確認 館内壁の補修や展示品の修繕などを職員が自前で行うなど適切に行われている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	資料確認・現地確認 事業計画書通り事業は実施されている。
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料確認 適切に行われている。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	現地確認 大ホールのみならず、前庭、ホワイエ、集会室の活用について積極的なPRを行い、利用者確保に努めている。
<b>II サービスの質の評価 (25点)</b>			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	資料確認 自主事業の際は、アンケートを配布、集計され、利用者の回答内容は概ね良好であった。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	現地確認・資料確認 花壇の手入れや除草、剪定作業など行い、前庭の芝のサッチングや肥料散布を行うなど適切に管理されている。
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	現地確認・資料確認 利用者に対する対応について適切に行なわれている。
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	A	現地確認・資料確認 新型コロナウイルス感染の影響がある中、市民に良質な文化鑑賞の機会を提供することができた。
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	現地確認 ホールだけでなくホワイエ、前庭等で多様な事業を行い、芸術文化の振興及び市民福祉の増進を図るといった設置目的に即した管理内容であった。
<b>III サービスの安定性の評価 (15点)</b>			
1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	資料確認 妥当である
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料確認 妥当である。

3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	資料確認 妥当である。
------------------	--------------------------	---	----------------

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>コロナ禍で有観客でのコンサート観賞が難しい中、新たな試みとして無料動画配信を行い、家庭で音楽を楽しむ機会を提供するなど、大勢の市民に楽しんでもらうため自主事業に工夫が見られる点も評価できる。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、空気清浄機や換気のための網戸を設置するとともに、花壇の手入れや玄関前の植栽、ボランティアで歩道を毎日清掃するなど適切に管理し美観を保っている。小規模な修繕は職員が自前で行うなど経費の節減にも努めている点も評価できる。</p>	<p>合計点 ( 72 ) 点 / ( 100 ) 点 ×100 = ( 72 )</p> <p>平均点 ( 3.6 ) 点</p>
---	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優 良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項 目	本年度〔令和4年4月～令和5年3月〕 A	本年度〔令和3年4月～令和4年3月〕 B	対 比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	359	359	0、 100.0%	
施設利用者数	85,627	61,689	23,938、 138.8%	入場者の定員規制が解除されたため
施設稼働率	100%	100%	0、 100.00 %	
事業開催数	16	18	-2、 88.9%	

※2 事業収支

(1) 収 入

項 目	本年度〔令和4年4月～令和5年3月〕 A	本年度〔令和3年4月～令和4年3月〕 B	対 比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	15,170,018	10,879,438	4,290,580、 139.4%	利用件数増のため
指定管理料	68,173,000	65,943,000	2,230,000、 103.4%	
事業収入	2,315,900	1,296,600	1,019,300、 178.6%	定員規制が解除され入場者増となったため
補助金及び助成金	3,204,225	602,311	2,601,914、 532.0%	燃料費高騰対策補助金交付のため
その他	192,925	118,654	74,271、 162.6%	入場券の取扱件数、自販機手数料増のため
合 計	89,056,068	78,840,003	10,216,065、 113.0%	

## (2) 支出

項目	本年度〔令和4年4月～令和5年3月〕 A	本年度〔令和3年4月～令和4年3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	26,518,214	25,296,019	1,222,195、104.8%	
委託料	26,056,471	25,529,133	527,338、102.1%	
施設費	22,275,969	17,573,810	4,702,159、126.8%	光熱水費高騰のため
事業費	5,880,059	2,385,518	3,494,541、246.5%	感染防止対策を実施しコロナ禍前の規模で事業を実施したため
事務局費	5,841,000	5,264,000	577,000、111.0%	
合計	80,730,713	76,048,480	4,662,233、106.2%	

## ※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔令和4年4月～令和5年3月〕 A	本年度〔令和3年4月～令和4年3月〕 B	対比 A-B、A/B	備考
① 事業収支	14,166,355	2,791,523	11,374,832、507.5%	貸館利用、事業数増のため
② 利用料金比率	17.0%	13.8%	3.2%、123.2%	利用者増のため
③ 人件費比率	32.8%	35.7%	-2.9%、91.9%	
④ 外部委託費比率	32.3%	36.1%	-3.8%、89.5%	
⑤ 利用者当たり管理コスト	942.8	1,147.4	-204.6、82.2%	
⑥ 利用者当たり自治体負担コスト	796.2	1,069.0	-272.8、74.5%	利用者増のため

## ①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

## ②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

## ③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎているか、又は費用がかかりすぎているかを確認する。

## ④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

## ⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

## ⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

## ※4 団体等の経営状況（年度ごと下期に実施し、上期では行いません。）

項目	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	備考
①自己資本比率	44.9	62.8	44.8	55.5	61.2	
②流動比率	191.7	323.6	196.3	257.0	312.3	
③固定長期適合率	11.2	11.0	12.6	10.9	10.5	
④総資産経常利益率	4.4	-0.5	-8.1	8.8	3.9	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

自己資本比率 (%) = 自己資本 ÷ 総資産 × 100 【例】 800 ÷ 2,000 × 100 = 40.0%

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

流動比率 (%) = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100 【例】 1,100 ÷ 700 × 100 = 157.1%

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

固定長期適合率 (%) = 固定資産 ÷ (固定負債 + 自己資本) × 100 【例】 900 ÷ (500 + 800) × 100 = 69.2%

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけ経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

総資本経常利益率 = 経常利益 ÷ 総資産 × 100 【例】 200 ÷ 2,000 × 100 = 10.0%

■貸借対照表（例）

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
現金及び預金 400	買掛金 400
受取手形 500	短期借入金 300
有価証券 200	流動負債合計 700
流動資産合計 1,100	固定負債
固定資産	社債 300
建物及び構築物 200	退職給付引当金 200
土地 500	固定負債合計 500
投資有価証券 200	負債合計 1,200
固定資産合計 900	【純資産の部】
	資本金 600
	利益剰余金 200
	純資産合計 800
資産合計 2,000	負債純資産合計 2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特段なし。

6 利用者アンケートの結果

自主事業について概ね事業を支持する良好な結果であった。